

# 柏市民活動ニュースレター

2021年10月発行 第22号

## 長引くコロナ禍の中でも、創意工夫で市民活動はできる！

- 長引くコロナ禍の中で、多くの市民活動団体は、イベントの中止・延期など活動の制約を余儀なくされていると思いますが、そんな中でも、オンライン講座など様々な創意工夫をして、熱い思いをもって活動を継続している団体も多く見られます。
- ニュースレター22号では、コロナ禍の中でも頑張っている市民活動団体の活動紹介や、最近実施した市民活動に役立つ講座の報告などを掲載しています。ご一読ください。
- また、昨年コロナ禍で中止になった「市民活動フェスタ&フリーマーケット」は、今年は実行委員の皆さんの創意工夫で、例年の対面型の活動紹介などに加えて、オンラインセミナーや動画による活動紹介などを実施する方向で準備を進めています。乞うご期待！
- 最後に、先日私が聴講した山崎亮氏のコミュニティデザインに関するオンライン講座の一角を紹介します。

コロナ禍でオンラインWSの機会が増えたが、災い転じて、対面WSに参加できなかった人も容易に参加できるようになった。



	対面ワークショップ	オンラインワークショップ
参加できる人	<ul style="list-style-type: none"><li>・高齢者</li><li>・仕事の後でも参加する熱意ある人</li><li>・親が連れてきてくれる子ども</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・高齢者（オンライン会議に参加できる人）</li><li>・仕事の後でも参加する熱意ある人</li><li>・親が連れてきてくれる子ども</li><li>・仕事帰りで疲れている人</li><li>・残業中の人</li><li>・子育て中の人</li><li>・ヘルパーがいないと移動できない人</li><li>・遠くに住んでいる出陣者など</li><li>・子どもたち</li></ul>
参加できない人	<ul style="list-style-type: none"><li>・仕事帰りで疲れている人</li><li>・残業中の人</li><li>・子育て中の人</li><li>・ヘルパーがいないと移動できない人</li><li>・遠くに住んでいる出陣者など</li><li>・子どもたち</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・高齢者（オンライン会議に参加できない人）</li></ul>

オンラインであれば参加できる

- 私が所属する団体でも、普段はなかなか参加できない現役の若手メンバーや子育て中のママさんも、オンラインのミーティングには参加できるようになりました。

### <目次>

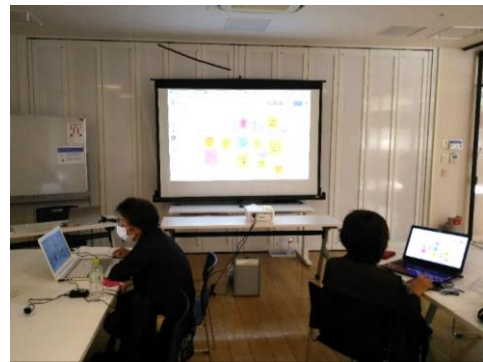
はじめに	・・・1 ページ
市民活動講座「覚えておきたい便利な ICT 活用術」	・・・2 ページ
市民活動講座「地域課題に取り組むためのクラウドファンディング活用術」	・・・3 ページ
協働のかしわ情報発信チーム・活動レポート	・・・4 ページ
たまご補助金・愛らぶ基金ポスター展	・・・5 ページ
たまご補助金団体「北柏楽しいことやっちゃおうプロジェクト」活動報告	・・・6 ページ
たまご補助金団体「ママのカラダケア Labo」活動報告	・・・7 ページ
お知らせ	・・・8 ページ



市民活動サポートコーナーでは、団体運営の基盤強化を目的とし、毎年 ICT（情報通信技術）に関する講座を開催しています。今年度は「覚えておきたい便利な ICT 活用術」をテーマに、Google のクラウドサービス（Google Workspace）の使い方について学びました。

（講師：一般社団法人 ICT 能力開発協会・名誉講師 青山司氏）

Google Workspace とは、Google のアプリ群のことで、Gmail や Google カレンダーの他、書類やグラフ作成などの仕事に使うことができるアプリが一つのパッケージにまとまっているものです。それらはすべて**無償**で利用可能であり、クラウドベースのアプリのため**インストール不要**。データも**自動保存**されるため、万が一端末が破損しても**データは守られます**。また**端末・デバイスを選ばず**、どこでも作業可能であることが便利な特徴です。



◆当講座での演習内容◆

Google ドキュメント	メモから本格的なレポートまで作成できる文書作成アプリ AI 搭載の音声機能で文書を入力することもできる
Google ドライブ	共有と共同編集ができるファイルを作成できるツール ドライブ内でファイル等を複数人で共有・同時編集できる
Google Jamboard (ジャムボード)	手書きにも対応したデジタルホワイトボードアプリ ホワイトボードを複数人で共有・同時編集でき、ビデオ通話ツールとの連携で、ディスカッションも可能（会議室に集まってミーティングをするのと同じ感覚）
Google Forms	大勢の意見をリアルタイムで集計・可視化できるアプリ 当講座の受講者アンケートを Forms 内で回答

新型コロナ感染拡大防止・まん延防止等重点措置のため、受講人数と時間を短縮しての開催となりましたが、受講者全員が Google Workspace を活動に活かす術を学び、組織で実際に活用できるようにすることを目標とし、意欲的に取り組めた講座となりました。（報告：鬼山恵子）

## 地域課題に取り組むためのクラウドファンディング活用法

(令和3年9月25日 14:00~16:00)

今回は市民活動団体の資金調達という大きなテーマの中で、特にクラウドファンディングに注目し、日本でのクラウドファンディングの草分け的存在である(株)CAMPFIREから、特に社会課題に取り組むプロジェクトを支援しているGoodMorningの大内氏を講師にお招きしました。

クラウドファンディングとは「インターネットを介して不特定多数の人々から少額ずつ資金を調達する」ことで、一般的なのは起案されたプロジェクトに対して支援者がお金を支援し、支援者はそのリターンとしてモノやサービスを得る仕組みの「購入型」と思いますが、他にも純粋に支援者がお金を寄付する仕組みの「寄付型」など、いくつかの種類があります。

クラウドファンディングの最大の特徴は、不特定多数から少額の資金を調達すること、つまり「1人から100万円を集める」のではなく「1万円を100人から集める」という、起案者・支援者両方にとっての手軽さにあります。手軽といっても「100人から集める」のは大変ですので、そこを(株)CAMPFIREのような事業者が支援し発信するためのプラットフォームを提供するというのが、現在のクラウドファンディングの仕組みです。

講座では、クラウドファンディングの流れと成功のポイントなどを事例も交えて講義されましたが、大事なのはどんな場面でもそうですが、「誰にもわかりやすく伝えること」「想いと客観性のバランス」「身近な人から広げていくこと」「応援したくなるようなコミュニケーション」、またこれはクラウドファンディングならではの

かもしれませんが「プロジェクトならではのリターン」を考えること。活動の資金調達は共感の輪をどれだけ広げていくことができるかにかかっています。

講座の後半は事前にプロジェクト提案された3団体の個別相談の時間を設けました。より具体的なアドバイスを受けて、チャレンジされることを楽しみにしています。

GoodMorningでは、随時プロジェクトの相談を受け付けていますので、クラウドファンディングで資金を獲得し実施してみたいプロジェクトがあったらお気軽に相談してみてください。

社会問題と向き合う人のクラウドファンディング GoodMorning

<https://camp-fire.jp/goodmorning>



### 【その3 柏・麦わらぼうしの会 市民団体×市民団体×学校×行政】

25年の長きに渡り、平和の尊さ・命の大切さを多くの人たちに語り継ぐ活動を続けている「柏・麦わらぼうしの会」にお話を伺いました。（取材日：令和2年12月11日）

#### 【協働の始まり】

2004年、柏市平和展で、柏市原爆被爆者の会「柏和会」を知り、柏市役所の仲介を経て交流が始まります。初めて会ったときこそ、体験者と非体験者の溝があったそうですが、活動を見ていただき、やがて強い信頼関係が生まれました。2017年には、10年間に渡る聞き取りの集大成として「つなぐ(私たちが聴いた原爆被爆者の証言)」を発刊しました。2009年からは学校公演を開始し、毎年約10校を訪問。

#### 【協働のポイント】

柏市平和事業への協力という形での柏市との協働、また「柏和会」との交流を続ける中で、公演先などが増え（継続的に学校や市外から公演要請がある）、活動は良い方向に広がり、深まっています。「会員が皆平等であり、主役はいないこと」を強みとして、会員が遠慮なく意見を出し合い、時に喧嘩腰になりながらも、しっかりと筋の通った主旨に沿って継続される活動。自分たちのやりたい事、大切にしたい事が明確なことが、協働を長く続けられる秘訣でしょう。

#### 【最後に】

学校公演を観た児童の「大切に思っている人を、これからも大切にしていきたい」などの感想が嬉しいと、メンバーは語ります。「私たちも戦争を知らないけど、戦争を無くし、命を大切にすることを伝えていきたい。皆さんが感じたことを、これからどう行動に移していくかが大切」という言葉が印象的でした。

#### 【追記】2021年9月

2021年8月、柏市民文化会館にて行われた一般を対象とした自主公演「この子たちを忘れない2021」を見に行き、原爆の悲惨さ・平和の尊さを改めて考えることができました。今年度も柏市からの派遣で8校の学校公演を予定しているそうです。現代表は井野口典子さん。



（取材・レポート：情報発信チーム  
中島 幸・深津英雄）

## 柏市民公益活動育成補助金（たまご補助金） 柏市民公益活動促進基金（柏・愛らぶ基金）登録団体 活動紹介ポスター展示を行いました（パレット柏オープンスペースにて）

9月22日～10月7日、パレット柏オープンスペースおよび市民活動エリアにて、柏市民公益活動育成補助金（たまご補助金）および、柏市民公益活動促進基金（柏・愛らぶ基金）の登録団体による活動紹介ポスター展示を行いました。

これは登録団体の活動や基金の制度を多くの市民に知ってもらうことを目的に開催しているものです。今年は、たまご補助金7団体、柏・愛らぶ基金15団体がPRに参加。どの団体もそれぞれに工夫を凝らした活動紹介ポスターを展示しました。

ポスター展を通して、会場を訪れた市民の皆さんに市民公益活動を応援する補助金制度に知っていただき、補助金を受けている柏市民公益活動団体について興味をもっていただくことができました。また、団体にとっても、活動をわかりやすく表現したポスターを作成し見ていただくを通して、補助金を受ける団体として、決意を新たにする機会となったのではないのでしょうか。



「かしわん、ぽ？」  
QRコード



### 柏市民公益活動育成補助金 （たまご補助金）

設立から5年未満の団体のための補助金です。これから事業力や信頼性を高めたい団体におすすめします。

### 柏市民公益活動促進補助金 （柏・愛らぶ基金）

一定の活動実績があり、継続して行っている活動をさらに充実、発展しようとする団体が行う活動に対して交付する補助金です。柏市民公益活動促進基金に登録し、その団体への応援を希望する寄附があった団体が交付の対象となります。

補助金についての詳細は、柏市民公益活動情報サイト「かしわん、ぽ？」TOPページの「市民活動支援制度」をご覧ください。



本号では、2021 年度のたまご補助金団体「北柏楽しいことやっちゃおうプロジェクト」の活動を紹介します。

当団体は、北柏駅周辺に住む住民が、このまちを「良くしたい！」という思いから立ち上げた、エリアマネジメントを行う団体であり、たまご補助金 2 年目（最終年）の今年度は、以下の事業に取り組んでいます。

### 2021 年度たまご補助金事業

#### ■事業名

北柏の「住んで楽しい！」を作ろう！プロジェクト 2021

#### ■解決したい課題

- 人口が流出し、活力が失われつつある状況の反転
- シビックプライドの向上と関係人口の増大 など

#### ■主な事業

- 北柏町会の図書館プロジェクトの伴走支援
- 住民アンケート・区画整理に伴うまちづくりの企画提案
- 各種イベント開催 など

この事業うち本号では、8月21日（土）に開催されたイベント「ヒミツフェスティバル」について紹介します。

ときまさにコロナ禍による緊急事態宣言の真っ只中、屋外イベントと言えども、規模の縮小が余儀なくされました。

この日に備えて万全の準備をしてきた「野外ライブ」を、泣く泣く延期せざるを得なくなってしまいました。

それでも「楽しいことやっちゃおう」精神は負けない！コロナ感染対策に万全を期しながら、「できるイベント」を“ヒミツ”でやっちゃいました！

コロナ禍で我慢が続く中、「あまびえメロン」や夜空を明るく照らしてくれた「花火」に感動の声も寄せられました。

### 北柏楽しいことやっちゃおう プロジェクト 代表 小斎隆宣

活動を始めて2年が経ち、少しずつ仲間も増えてきました。

コロナ禍であっても、活動を取捨選択して、地域を盛り上げていきます。

もう少し時間が経つと、皆さんが思う「北柏」の言葉の響きが変わってくると思いますので、楽しみにしててください！



### 《ヒミツフェスティバル》

※北柏町会との共同イベント

■日時：2021 年 8 月 21 日（土）  
10：00～19：00

■場所：北柏ふるさと公園

■主なイベント：

〈A〉「あまびえメロン」の展示

〈B〉打ち上げ花火

※ 野外ライブは延期

#### 〈A〉「あまびえメロン」の展示

• “ふるさと交流都市” つがる市のメロン農家さんが、この日のために丹精込めて育てた「あまびえメロン」を展示しました。



#### 〈B〉 打ち上げ花火

• 密を避けるため事前予告せず、北柏ふるさと公園からほど近い市内某所にて、コロナ禍で暗く淀んだ夜空を明るく照らせと、花火をドカ〜と打ち上げました！



## ママのカラダケア Labo

— 『ママのためのカラダケアガイドブック』作成秘話 —

産前産後のママ達を助産師・看護師・理学療法士がサポートする「ママのカラダケア Labo」は、『孤育て』や『カラダやココロの悩みや不安に対応したい』と集まった柏市公益活動団体です。令和2年度、3年度は柏市民公益活動育成補助金（たまご補助金）を交付を受けて活動され、『ママのためのカラダケアガイドブック』完成までの経緯を代表の大金麻実さんに伺ってみました。

**Q.『ママのためのカラダケアガイドブック』作成の経緯を教えてください。**

昨年度の前半は、産前産後のママ達へ向けて骨盤ケア講座などを開催していましたが、後半は対面での講座開催が厳しい状況になりました。そんな時に協働推進課の方から、「こんな状況だからこそ必要とされていること、やるべきことがあるのでは」、とご助言をいただきました。そこで、講座が開催できないのであれば、講座でお伝えしている『ココロとカラダのケア方法』をガイドブックとしてまとめて、手に取ってもらうことで、産前産後ママ達の不安を少しでも和らげることが出来るかもしれない！という想いで作成に至りました。



**Q.たまご補助金を交付され、よかった点はありますか？**

設立間もない団体のため、活動だけではガイドブックを作成する費用を捻出することが難しい状況でしたが、柏市の職員の方のご協力やご助言、補助金の交付と後押しをさせていただいたことで、無事にガイドブックを作成することができました。非常にありがたい事業だと思ひますし、とても感謝しております。



**Q.ママのカラダケア Labo としての今後の目標、夢はありますか？**

初めての試みでしたが、ガイドブックをお届けすることでママの力になることができ、とてもありがたい機会でした。ただ、やはりこの状況で外出がままならず孤立してしまっているママ達もいらっしゃると思いますので、今後の状況が落ち着いてきましたら、対面での講座を増やし直接ママ達の悩みに寄り添っていく活動を続けたいと思っています。また、ママ Labo では、『地域ママや子ども達のために力になりたい！』という想いをお持ちの方を募集しています。想いやスキルはあるけれど、活動に踏み出せないという方が一歩を踏み出して輝ける場所の提供を行っていくのも、ママ Labo の夢の一つです。

たまご補助金の活用で、必用な方のもとへ届く活動を応援しております！（宮崎彩）

補助金  
制度の  
ご案内

## 協働推進課からのお知らせ

「たまご補助金」って知っていますか？



たまご補助金（柏市民公益活動育成補助金）とは

設立間もない団体が自主的、自発的に活動を行うための財政的支援制度です。補助金交付終了後も活動資金を集め、活動を継続できる団体を育成することを目的とした補助金です。

### ☆ポイント☆

1. **問題意識**と**情熱**があっても、**資金**がない団体への補助金制度
2. 交付終了後も**自立して活動**を継続する団体の育成

### ☆制度概要☆ 令和4年度申請から変更になります

- ・補助割合 → 補助対象経費の**90%**
- ・補助上限額 → **20万円**
- ・交付上限回数 → **2回**まで
- ・対象団体 → **設立3年未満**まで



制度や補助金交付の流れについて説明する、事前説明会が**12月**に行われる予定で、**1月**より申し込み受付開始となっております！

※12月に事前相談期間を設けています。必ず、市民活動サポートコーナーへ相談をしてから応募をお願いいたします。

詳細等は、QRコード内（柏市オフィシャルウェブサイト）をご確認の上、御不明点等ありましたら、お気軽に市民活動サポートコーナー

☎**04-7163-1143**までお問合せください。

最新情報は柏市HP

よりご確認ください



### -編集後記-

今回、人生初の編集を担当しました！と言ってもスタッフに記事の依頼をただけなのですが。。何事もまだまだ経験だなと感じました。経験すると視点が変わりますね。寒くなりますので、皆様ご自愛くださいませ。（宮崎）